

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 ことばを、ていねいな言い方に直しましょう。



山本先生が、わたしたちの先生だ。(です)

今日から三年生になる。

なります

新しい友達となかよくしたい。

したいです

みんなで自こしようかいをしよう。

しましょう

2 かたかなに直しましょう。



ズ ツ ク



マ ラ ソ ン



パ ズ ル



セ ー タ ー

3 つぎの文の まちがいを、正しく書き直しましょう。

ぼおるをなげてあそぶ。

ボール

兄には、友だちが大きい。

多い

「こんにちわ」とあいさつする。

こんにちは



名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

きつつきの商売 ①

1 () に合う言葉を、 からえらんで書きましょう。

うつくしい音楽に () する。

このふくは、ぼくに () の大きさだ。

おばあさんが、 () といねむりを始めた。

むずかしい問題を、 () と時間をかけて考える。

びったり () じつくり () しゃっくり () こっくり

2 絵に合う言葉を、 からえらんで書きましょう。



てっぺん



みき



うろ

みき
てっぺん
うろ
ねっこ

3 の意味に合うものに、 ○ をつけましょう。

えりすぐりの () とくべつに、ねだんの高いもの。

ざいりよう () とくべつに、えらんだいいもの。

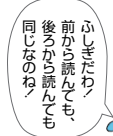
「やりたい。」と () 大きな声で言う。
みんなが () 口を大きくひらいて言う。
口々に言う。 () それぞれに言う。



名前 () 月 日 () 点



ま さ か さ か さ ま



ふしぎだわ、前から読んでも、後ろから読んでも、同じなのね。



き ず い た い ず き

名前 () 月 日 () 点



おもひふそう、自分で音を作って書くだね。



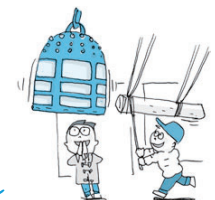
ガラガラドン ドカーン



ザブーン バシャ



ザザー スコッ スコッ



ボーン ゴアーン

音のつくりかたは、国語の授業でもおぼえておきましょう。

名前 年 組 番 月 日 点

1 絵に合うことばを、 からえらんで書きましょう。

重いリュックを
かつぐ



屋上から町を
見下ろす



木を切る音が、森に
こだまする



見下ろす かつぐ こだまする こしらえる

2 つづく言葉を でつなぎましょう。

- しいんだまって、目を とじる。
- うんと長い時間が うなずく。
- 教室が楽しい音に つつまれる。
- まどの外に目を すぎる。
- むける。



3 「できたて」という言葉を使って、短い文を作りましょう。



おばあちゃんがやってくれたできたてのホットケーキは、とてもおいしい。



この例文を少しかき、書いてもいいよ。

名前 年 組 番 月 日 点

1 国語辞典で、先に出てくる方に○をつけましょう。

- あか (○) ひざ (○) ボール (○) けいこ (○)
- あお (○) ピザ (○) ボール (○) ゲーム (○)

2 の言葉を、国語辞典にのっている形に直しましょう。

遠くまで走った。五月のわか葉がきれいだ。
帰りは、ゆっくり歩いて帰ろうと思った。



ア 走る イ 歩く ウ 帰る

朝おきて、まどを開けると、さわやかな風がふいていた。



エ おきる オ さわやか カ ふく

3 辞典で を調べて、文に合う意味を でつなぎましょう。

- 顔が広い
- 顔から火が出る
- 顔なじみ



秋風



おくびよう風



ばた足



出足



かけ足



下がり目



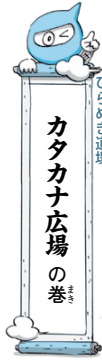
まじ目



大目



このページは、国語辞典の「国語辞典」のページです。国語辞典の「国語辞典」のページです。国語辞典の「国語辞典」のページです。



みんな楽しそうね。カタカナを□にカタカナを書くのね。

とらんべつ トランペット

きやつちぼる キャッチボール

ちゅんちゅん チュンチュン

ぎたあ ギター

さつかあ サッカー

ばどみんとん バドミントン

びくにつく ピクニック

にゃあお ニャーオ

くろおばあ クローバー

ちゅうりっぷ チューリップ

1 を音読みはカタカナで、訓読みはひらがなで書きましょう。



（シヨク）（た）
きゅう食を、ゆっくり食べる。

（カ）（いえ）
家族で、おじさんの家へ行く。

（ゴ）（がたり）（ヒョウ）（あらわ）
国語の時間に物語を読む。表やグラフに表す。

2 の漢字の読みがなを書きましよう。

（した）（学校）（ろう）（下）（か）
テーブルの下。

（さ）（こし）（下ろす）（お）
頭を下げる。

3 文の意味を考えて、に合う漢字を書きましよう。

今日は、多くの友人たちと夕食をとる。

（先）（頭）（走る）
先頭を走る。

（千）（円）（さつ）（出す）
千円さつを出す。

（夜）（明）（ける）
夜が明ける。



1 の意味を、からえらんで記号を書きましよう。

（し）（や）（れ）
（ウ）

（回）（文）
（エ）

（ア）（ナ）（グ）（ラ）（ム）
（ア）

2 次の言葉遊びを、からえらんで書きましよう。

（しん）（ぶん）（し）、下から読んでも（しん）（ぶん）（し）

（お）（ぞう）（に）（だ）、（じゅん）（を）（か）（え）（る）（と）（お）（に）（だ）（ぞう）

（う）（ち）（の）（マ）（マ）（は）（わ）（が）（ま）（ま）

3 ア、イに入る言葉を、からえらんで書きましよう。

文章を書くとき、ないようのまとまり「ことにくぎる」ことを、「ア」をつける。といいます。

アのはじめは、イ書きます。

（ア）（段）（落）（イ）（一）（字）（下）（げ）（て）

読点	題名	段落	一行あけて	一字下げて



門にぴたっと

耳をつけて、

何をしている？



字をかわせや、
どんなかん字が
できるかな？

（晴）
空が青い日は、
どんな日？



（理）
王さまが
里に行って、
何を学んだのかな？



（思）
ふるさとの
田んぼを見て、
心にかぶのは？



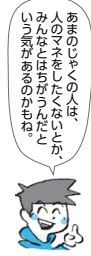
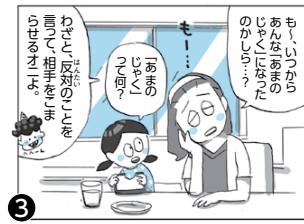
（姉）
市場にいた
あの女の人は
だれだろう？



「あまのじやく」の編



意味 相手をこまらせるために、わざと
反対のことをいう人。へそ曲がりの人。



こまを楽しむ

50-59

名前 年 組 番 月 日 点

1 () に合う言葉を、 からえらんで書きましょう。

たなの上に本を つみかさねる
車のエンジンが うなる
こまにかいてんを くわえる

くわえる
つみかさねる
つまむ
うなる



2 の正しい意味をえらんで、 でつなぎましょう。

とくちょう まわりよりへこんでいるところ。
ぶぶん ほかのものどちがう点。
くぼみ 全体を細かく分けたその中の一つ。

ブンブン回ること。



3 次の文を読んで、こまの名前を絵から見つけて書きましょう。

どうがが細長く、たたいて長く回すこま。 たたきこま
どうが、広くて、細長いあなが空いている。 鳴りこま
ボールのような丸いこまで、指で回す。 さか立ちこま

曲こま
すべり
鳴りこま
さか立ちこま
たたきこま

気持ちよくめて
「来てください」

60-63

名前 年 組 番 月 日 点

1 かなづかいの正しいほうを、 でかこみましょう。

父のけんこうを 気すかう。
父のけんこうを 気つかう。
みじかな人 に手紙を出す。
みぢかな人

2 手紙について、 () に書くことを の記号で答えましょう。

毎日、あつい日がつづいています。みな様
お元気でしうか。

(イ) (ウ) (エ) (オ)

ア 自分の名前
イ 相手の名前
ウ 日づけ
エ 本文
オ むすびのあいさつ

3 ふとうに名前を書いて、手紙をおくれるようにしましょう。

東京都文京区白山七二十三
花山 みち子様
11120004

石川県金沢市寺町八一十五
山田 光一
92180033

(手紙を書いた人)
山田 光一
花山 みち子

おもしろい
自分で音を作って
書くのね。

ピーポーピーポー
ピーポーピーポー

(解答例)
ガタン ガタン
コトン コトン

チリン チリン
カラン コロン

ポタ ポタ
ピチャン ピチャン

絵に合う言葉を
見つけるだね。

いそがしい

いたいたい

いさましい

いとしい

「いやらしい」のなかま



- 友だちや家族に手紙を書きましょう。
- ふうとうを作って、あて名と住所、さし出人と住所を書きましょう。



の
り
し
る



Handwriting practice lines consisting of ten horizontal lines, each with a dashed midline for letter height guidance.

主語・述語

名前 年 組 番 月 日 点

1 次の文の述語に——を引きましょう。

- 春風が、そよそよと ふく。
- さくらの 花びらが、風に ゆれている。
- 今年の さくらは、本当に うつくしい。



2 次の文の形を、□ からえらんで記号で書きましょう。

- 母は、ようち園の先生だ。 (ウ)
- 姉の話し方は、おもしろい。 (イ)
- 弟は、ピアノをひいている。 (ア)



ア 何が(は) どうする。
イ 何が(は) なんだ。
ウ 何が(は) 何だ。

3 次の文の主語に——を、述語に——を引きましょう。



今日は、とても よい 天気でした。

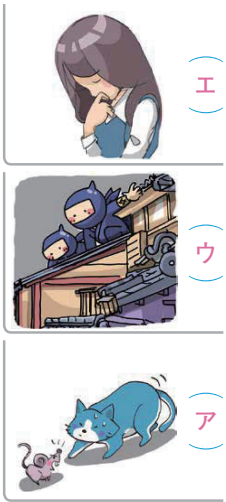
- 三年生になって、ぼくは どきどきしている。
- この ぼうしは もう 小さい。
- ひろしくんは、となり町からの てん校生だ。
- ぼくの せきの となりは、ひろしくんだ。



まいごのかぎ

名前 年 組 番 月 日 点

1 絵に合うことばを□ からえらんで、記号を書きましょう。



ア 後ずさり
イ ねそべる
ウ のびよる
エ うつむく

2 の言葉の意味を——でつなぎましょう。

- あつけにとられる。 → 後ろの方にまげる。
- まばたきする。 → 思いがけないことにおどろくこと。
- せなかをそらす。 → 目をあけたり、とじたりすること。
- 思い通りにならない、くやしいこと。

3 () に合う言葉を、□ からえらんで書きましょう。

- 雲が広がり、雨がふり出し (そうな) お天気だ。
- きのはさむかったのに、今日は春の (ような) 日だ。
- 口ひげが、しつぽ (みたいに) くるんとまいてる。
- 弟は、しかられて、赤ちゃんの (ように) なきだした。
- そうな ような みたいに そうに ように

名前

一字かわる だけで 意味のちがう 言葉に なるんだね。

い か し か た か



あ に か に

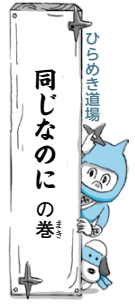
わ に

か き か い か め

た す き た ぬ き

ね ふ だ お ふ だ な ふ だ

ひらめき道場 一字がえばの巻



名前

湯 かげん 味 かげん

どこか にていけるけれど、 ぜんぜん ちがうのね。



ひまわり

おまわり

よ まわり



ふく 耳

空 耳

パンの 耳



こそあど言葉を
使いこなそう

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 () に合う言葉を、□ からえらんで書きましょう。



各 10 点

遠くの (あ) 雲は、子ぶたみたいだね。

たくさんの絵だ。いったい (どの) 絵が君の物なの。

そこどころんだときに、(この) きずができたんだ。

君が手に持っている (その) 本をかしてほしい。

この
その
あの
どの

2 が、指しめしている言葉を () に書きましょう。

ろう下でかぎを拾った。すぐに (かぎ) それを

各 10 点

午前中、雨だった。午後からあられに



(あられ)

3 次の場合に使う「こそあど言葉」を、() でつなぎましょう。

- 話し手に近い (どれ・どの・どんな)
- 相手に近い (これ・この・こんな)
- どちらからも遠い (あれ・あの・あんな)
- 指しめすものがはっきりしない (それ・その・そんな)



国語辞典を使う
辞典を使って

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 の言葉を、国語辞典にのっている形に直しましょう。

各 10 点

あせをふきながら
山道を行くと、遠くに
小さな山小屋が見えた。



2 言葉の意味に合うものを、□ からえらんで記号を書きましょう。

各 10 点



耳が 早い。 (エ)
遠い。 (ウ)
いたい。 (ア)

ア 自分の悪い点を言われ、つらく思う。
イ すぐにうわさが広がる。
ウ よく聞こえない。
エ うわさなどを知ることが早い。

3 の言葉を調べて、文に合う意味を () でつなぎましょう。

各 10 点

みる
かい犬のめんどろをみる。
山から、けしきをみる。



とる
今日は、早めに夕食をとる。
お正月に家族で写真をとる。
大事なことは、メモをとる。



さめる
心のまよいから、目がさめる。
朝、すっきり目がさめる。
お風呂のお湯がさめる。



漢字の階だんの巻



漢字で階だんを
作るんだ
おもしろい

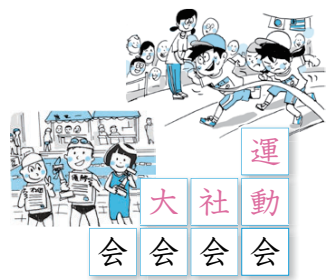


図 書 館
図 面 工 図



体 育 館
体 力 重 力 体

(解答例)



運 動 会
大 会 会 会



画 用 紙
画 家 面 紙

「か」のなかま



ややこしい言葉の巻

「か」のなかま

かわいらしい

かたくるしい

かるがるしい



かがやかしい
かたくるしい

かるがるしい
かわいらしい

「か」のなかまの言葉をつかって、文を作ってみましょう。

知らないお客様をおむかえして
きのうは、かたくるしかった。

縦書きの文を書く練習用紙

仕事のくふう、
見つけたよ

92-96

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 同じ意味の言葉をえらんで、○でかこみましょう。

見たり聞いたりしたことをまとめる。
(終わりにする 一つにする しまいこむ)

調べる仕事をえらぶのに、身近な仕事を多くあげる。
(人に物をあげる 物を持ち上げる 親友の名前をあげる)

段落を分ける。
(一行空けて分ける 句点をつける ないようのまとまりで分ける)

2 () に始め、中、終わりを書いて、ほうこく文にしましょう。

中 調べ方、分かったこと。

終わり 調べてみて、おどろいたことや感想。

3 () に番号を書いて、一つのほうこく文にしましょう。

2 見学に行ったのは、中町のスーパー「はやりや」さんです。店長さんは村田さんです。

4 見学してびっくりしたことは、.....
そして、.....また、おすめの商品の見せ方に細かくふうをしていることです。買物物が、楽しくなる理由が分かった気がしました。

1 わたしは、母と買い物に行くのが大好きです。とくにスーパーは、きせつの食品が多くならんでいて、楽しいのです。それで調べてみました。

3 これは、店長の村田さんの話です。「いそがしいのは、やはり夕方です。とく売日は遠くからのお客様で、早くからこむんです。」



※解答 (40)

ひらめき道場
ややこしい言葉の巻

名前 () 月 日 () 点

「す」のなかま

すがすがしい

すさまじい

すばしっこい



から 絵に合う言葉を見つけたね。

すさまじい

すがすがしい

「す」のなかまの言葉をつかって、文を作ってみましょう。

高原の朝の空気は、とてもすがすがしい。

縦書きの文を書くための枠

※解答の入り
この「す」は、国語の言葉の巻の「す」です。
様々な場面や状況で使われる「す」の言葉を探してみよう。

符号など

97

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 次の作文に、「」を二組つけましょう。

※解答 各10/20

にんじん

夕食に、大きらいなににんじんが出ました。おねえちゃんも、

「じゃがいもといっしょに食べたいいよ。」

と言ったので、そうすると、にんじんの味はしませんでした。「おねえちゃんは、りこうだな。」と思いました。



作 石野 みさ子

2 □ に合う符号を、□ からえらんで書きましょう。

(同じ符号を二回使ってもよいです。)

今日は、遠足だったのに、雨で中止になった。

図書室で、はだかの王様 を読んだ。

母は、牛にゆう たまご さとうを買った。



3 次の、の符号の名前を、□ からえらんで書きましょう。

各10/30

きのう、マグロ・イカ・エビのおすしをいっぱい食べた。

中点 句点 読点 終点

句点 中点 読点

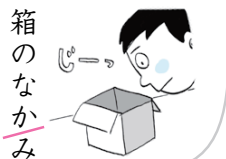


ひらめき道場
くぎりあそびの巻

名前 () 月 日 () 点

ひるまでかける。

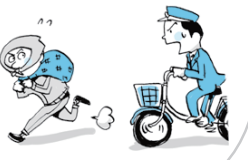
箱のなかみつめる。



絵に合うように、線を描きなな。

自転車にげたはん人を追う。

自転車にげたはん人を追う。



へんとつくり

122~123

名前 () 年 () 組 () 番 () 月 () 日 () 点 ()

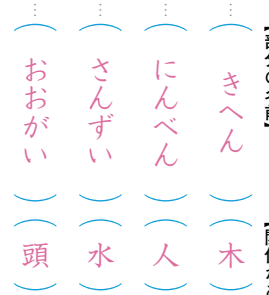
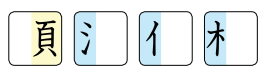
1 漢字の () と () の部分を何といいますか。



2 () と () の部分の名前を書き、それに関係があるものを () からえらんで書きましょう。

【部分の名前】

【関係があるもの】



3 () と () に入るへんやつくりを () に書きましょう。



水 永 生 活 ()



時代 主 所 (イ) 彦 色 是 名 (頁)

屋 良 学 校 (木) 十 画 国 語 (言)



ローマ字 ①

日 124~128

() 年 () 組 () 番 () 月 () 日 () 点 ()

1 () に文字を入れて、絵に合う言葉を書きましょう。

各 10 (40)



t o r a



t e r a



t o r i



t u r i

2 読み方をひらがなで書きましょう。

各 5 (30)

neko

(ねこ)

inosisi

(いのしし)

zifensya

(じてんしゃ)

enpitu

(えんぴつ)

kokuban

(こくばん)

tosyokan

(としよかん)

3 ローマ字で書きましょう。

各 10 (30)

くるま



でんしゃ



ふね



kuruma

densha

funo

(densha も可。)

(funo も可。)



同じ音ばかりの巻

同じ音の漢字を () から選んで、 () に書くのね。



町の (公) 園のそばに、 (交) 番があり、
そのとなりは銀 (行) です。遠くには、
(工) 場のえんとつが見えます。



森 (シン) 林を歩き、 (深) (シ) こきゅうして、
親 (シン) 友と (新) (シン) 緑の山で写 (真) (シン) をとる。

自分のお店を、 (当) (トウテン) 店 (トウテン) と言います。
文のくぎりの点は、 (読) (トウテン) 点 (トウテン) です。

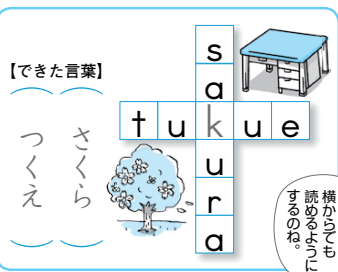


ローマ字
くしきしパズルの巻

名前 ()



たてかたてせ
横からてせ
読めるように
するのね。

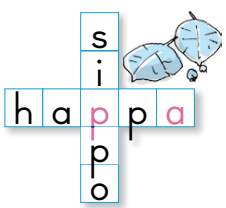


【できた言葉】

つくえ

【できた言葉】

ふゆき

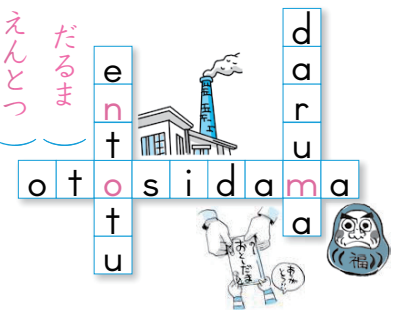


【できた言葉】

はっぴ

【できた言葉】

お年玉



ローマ字②

| 344 |

【

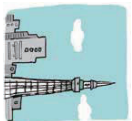
1 次の地名を読み、ひらがなで書きましょう。

各10(30)

Kyôto



TOKYO



Hokkaido



(きょうと) (とうきょう) (ほうかいどう)

2 ローマ字で書きましょう。

各10(40)

かえり



おとうと



うにゃか



ほんや



kaeru

oto

oakko

hon'ya

各5(3) しょう。 (zishaku shō)

(zishaku 忌可。)

各5(30)

sùzi

zisyaku

kuzira

(すし)

(じょうへ)

(5)

akko

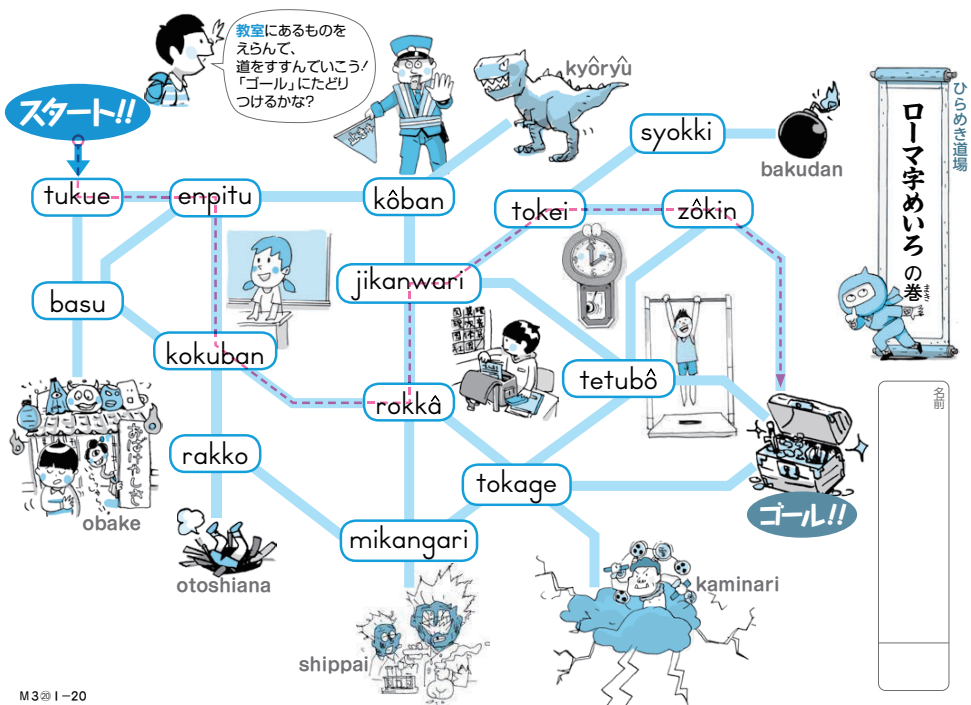
kon'nyaku

kuki

(5, 5, 1)

にんにく

^
v
#



ひらめき道場

名

M 3 20 1 -20